

建設新

2014

10月29日

水曜日

NEO東北

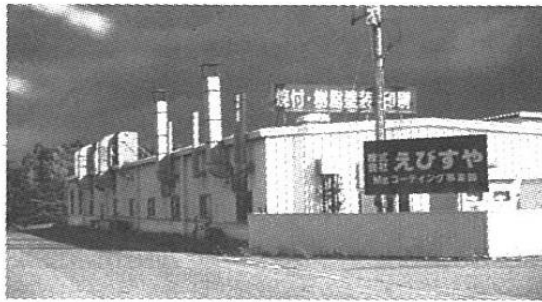
塗装廃液の臭気を大幅に低減

微生物製剤を投入

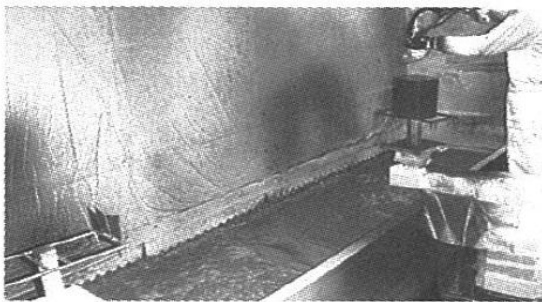
バイオテクノロジーを活用した微生物製剤の販売や、建設・不動産コンサルタント事業を展開しているNEO東北(仙台市若林区御町 志賀清彦代表)が、岩手県奥州市の株式会社えびすやの塗

装ブースに微生物製剤「NEOクリアー」を投入して進めているバイオ処理が大きな成果を上げている。プラスチック製品などの塗装工程で出る廃液の処理段階にNEOクリ

アーを投入。これまで化学薬品で処理していた場合に比べ、大幅な臭気低減効果が得られた。廃液の循環利用が可能になったため工場の水道コストの節約にもつながっている。廃液処理の際に発生



えびすやの塗装工場



廃液をバイオ処理

する固形残さのスラッジ処理も残さの粘性が大きく低下したため、処理が容易になり減容化の効果も確認できたという。

東和酵素(神奈川県平塚市)を製造元とするNEOクリアーは、1㊺中に120億個以上の好気性菌(ミタゲン菌)が含まれる微生物製剤。同社の志賀代表は、「自動車部品塗装業界や一般塗装工程を持つ製造業をクライアントとする建設業者に有用なアドバースができる」と話している。

問い合わせは、NEO東北(☎022-762-5142)まで。